

平成28年度循環型社会形成推進功労者環境大臣表彰

受賞者のご紹介(順不同・敬称略)

3R活動優良企業

株式会社きのとや

北海道

平成17年より搬入・搬出作業用の段ボール箱のコンテナへの切替えを開始し、以降、容器びんの回収、食品残さの再資源化に取り組んできた。さらに、平成24年にはお菓子の切れ端を活用した製品の開発・販売を開始するなど、ゼロ・エミッションに向けた取組を展開している。

生活クラブ生活協同組合北海道

北海道

全国の生活クラブ生協と連携し、生産者・地域の資源回収業者の協力のもと、平成5年に独自のびん再使用システムを構築し、回収率90%を目指している。平成26年度の回収実績は76.9%となった。

株式会社エヌエスオカムラ

岩手県

金属製品の塗装に必須の前処理工程では、スラッジの発生が不可避であったが、処理工程の見直しや技術開発により年間15トン発生していたスラッジをゼロにするとともに、平成27年度には、工場全体の熱原単位の前年度比16%削減に成功した。

サントリー食品インターナショナル株式会社 東京都

ペットボトルの環境負荷低減のために、3Rを進化させた「2R+B」(リデュース、リサイクル、バイオ)戦略に基づき開発・設計に取組み、平成28年には世界で初めて飲料用ペットボトルに植物由来原料30%を使用したキャップを導入した。

森永乳業株式会社東京工場

東京都

平成25年に微細な気泡を排水に吹き込むファインバブル装置を導入して、平成27年度には汚泥発生量を平成24年度比約80%削減するとともに、平成25年よりこれまで食品廃棄物として処理してきた豆腐おからを乳酸発酵させサイレージ飼料を製造し、酪農家に全量販売するようになった。また、この飼料を食べた牛の乳を工場で受け入れて乳製品の原料としている。

株式会社星野リゾート軽井沢事業所

長野!

ホテル事業による周辺環境への負荷を最小限にとどめながら、最高の顧客満足度と利益を生み出すことを企業ビジョンとし、平成12年からゼロ・エミッションに取り組む。平成23年11月にはホテル業界初のゼロ・エミッションを達成した。

株式会社りゅういき

岐阜県

下水汚泥の土質固化材へのリサイクルを異業種交流により進め、平成9年に岐阜県リサイクル認定製品の第1号となった。平成19年度からは、下水汚泥のバイオマス燃料化に取り組むなど、下水汚泥の完全リサイクル化の取組を実施している。

3R活動推進功労(団体)

志木市くらしの会

埼玉県

昭和50年から資源の有効活用、生産者・販売者・消費者の相互の意思 疎通をテーマにし、資源の有効活用法を提案する消費生活展やリサ イクル講習会を実施。また、夏休み子ども消費者教室の開催など地道 な活動を続けている。

石川県リサイクル認定製品取得企業連絡協議会 石川県

平成13年から県のエコ・リサイクル認定製品の認定を受けた企業が集まり、認定製品の利用拡大とリサイクル産業の発展のため、各種イベントへの出展やPR等を、全国に先駆けて実施している。

消費研究グループいそじ会

静岡県

昭和51年の結成以来、ごみ減量、再資源化について市民への啓発活動を実施。上質紙の回収事業や不要になったバスタオルから防災ずきんを作る等の再利用製品の作成実習、小売店への包装改善依頼などを実施している。

京田辺エコパークかんなび

京都原

平成19年より京田辺市のごみ処理施設の一フロアを借り、市民から出た不用品を引取り、点検・修理して市民に安価で販売する活動を実施。さらに不用品の再活用のための教室も実施。

鳥取県商工会女性部連合会

鳥取県

ごみの減量・リサイクル活動を20年間実施。平成23年度からはミックスペーパーのリサイクル、段ボールコンポストを推進。また、平成26年からは県内でいち早く食品ロス削減の運動にも取り組んだ。

NPO法人ゼロ・ウェイストアカデミー

恵島県

平成17年よりゼロ・ウェイスト社会をつくるために、34分別を行う上勝町内唯一のごみ資源集積所の管理や、不要となった衣類・雑貨等のリユースや布類からリメイク商品の作成販売する施設を運営。さらに、全国から訪れる多くの視察者の対応等も行っている。

学校法人本城学園本城東幼稚園

福岡県

平成16年から資源ごみの回収を開始し、現在では生ごみの堆肥化を 園児とともに行い、その堆肥を使用した野菜栽培から調理まで関わることで、食べ物の大切さを園児に教えている。そのほか、保育参観 での環境教育や園だよりを通じて保護者へのエコの普及を図っており、さらに地域にも資源回収などの活動を広げている。

洞南四地区活性化委員会

福岡県

平成17年から地域の祭りである祇園山笠競演会後のごみ拾いを開始。平成22年度からは資源ごみ回収とエコ活動の啓発を目的としたイベントを年2回開催するなど、地域一体型のエコ活動を目指している。

NPO法人こすみんず

福岡

廃食用油の回収事業を地元飯塚市に提案し、平成20年には市内3自治会をモデルとした廃油回収事業を実施。その結果を踏まえ授産施設でのバイオディーゼル燃料の製造、それを市の公用車で活用するという什組みを構築した。

ボランティア団体おもちゃ病院伊都国 福岡

平成19年より壊れたおもちゃを無償修理する「おもちゃ病院」を開始。また、「おもちゃ修理体験学習支援」などの多角的な活動を実施し、子供たちや地域住民への環境意識の定着化に寄与している。

NPO法人熊本県有機農業研究会

能木匠

発足以来、有機農業の普及だけでなく、菜の花栽培から廃食油の回収とバイオディーゼル燃料の農業機械での使用を進める「菜の花プロジェクト」の実施や、竹チップを使った堆肥化等を実施してきた。平成22年からは、毎年開催のイベントにおいて、食器洗浄を授産施設に依頼してリユース食器を導入するようになった。

3R活動推進功労(個人)

西本勝次

佐賀県

多年にわたり3Rの推進に多大な功績を残してきた。平成23年度からは市区長会長・環境衛生推進協議会長としてマイバックキャンペーンや生ごみの堆肥化等を推進するなど、循環型社会形成のためにリーダーシップをとってきた。